

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2009-57235(P2009-57235A)

【公開日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2007-225484(P2007-225484)

【国際特許分類】

C 05 F	17/00	(2006.01)
A 61 L	9/01	(2006.01)
C 02 F	11/00	(2006.01)
C 02 F	11/02	(2006.01)
C 02 F	3/12	(2006.01)
C 05 F	3/00	(2006.01)
C 05 F	7/00	(2006.01)
C 05 F	15/00	(2006.01)

【F I】

C 05 F	17/00	Z A B
A 61 L	9/01	B
C 02 F	11/00	F
C 02 F	11/02	
C 02 F	3/12	H
C 02 F	3/12	Z
C 05 F	3/00	
C 05 F	7/00	
C 05 F	15/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月27日(2010.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有機廃棄物の堆積物に、有機物を含む廃水を微生物学的に処理して得られ、かつ硝酸塩及び硫酸塩を含んだ電子受容体水を混合することを特徴とする堆肥の製造方法。

【請求項2】

前記電子受容体水は、有機物を含む廃水を低曝気処理した後、静置して得られる上澄水であることを特徴とする請求項1に記載の堆肥の製造方法。

【請求項3】

前記電子受容体水は、溶存酸素0～3mg/L、酸化還元電位0～300mVの条件下曝気した後、静置して得られる上澄水であることを特徴とする請求項1又は2に記載の堆肥の製造方法。

【請求項4】

前記電子受容体は、硝酸塩5～500mg/L、硫酸塩5～700mg/Lを含んでいることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の堆肥の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

(a) 家畜糞尿に亜硫酸パルプの製造工程で得られるリグニンスルホン塩酸を散布する方法(特許文献1)。

(b) パルプを原料とした炭化パルプを家畜糞尿に添加する方法(特許文献2)。

(c) *Bacillus* sp.F0016、*Bacillus* sp.F0018、*Bacillus subtilis* JAM2001、*Streptococcus thermophilus* D0013からなる群から選択される1種類以上の株菌を用いた培養液でボカシを作成し、このボカシを排泄物に添加して臭気発生の抑制と堆肥の発酵を促進させる方法(特許文献3)。